



東北地方の支援

奥能登へのアクセスルートが遮断。 奥能登全体が孤立状態に。

■寸断されたアクセス道路



この地震は、被災地が山がちな半島であり、三方を海に囲まれ、地理的に制約がある中でアクセスが困難であること、高齢者が多い地域であることなどの地理的・社会的特徴があった。



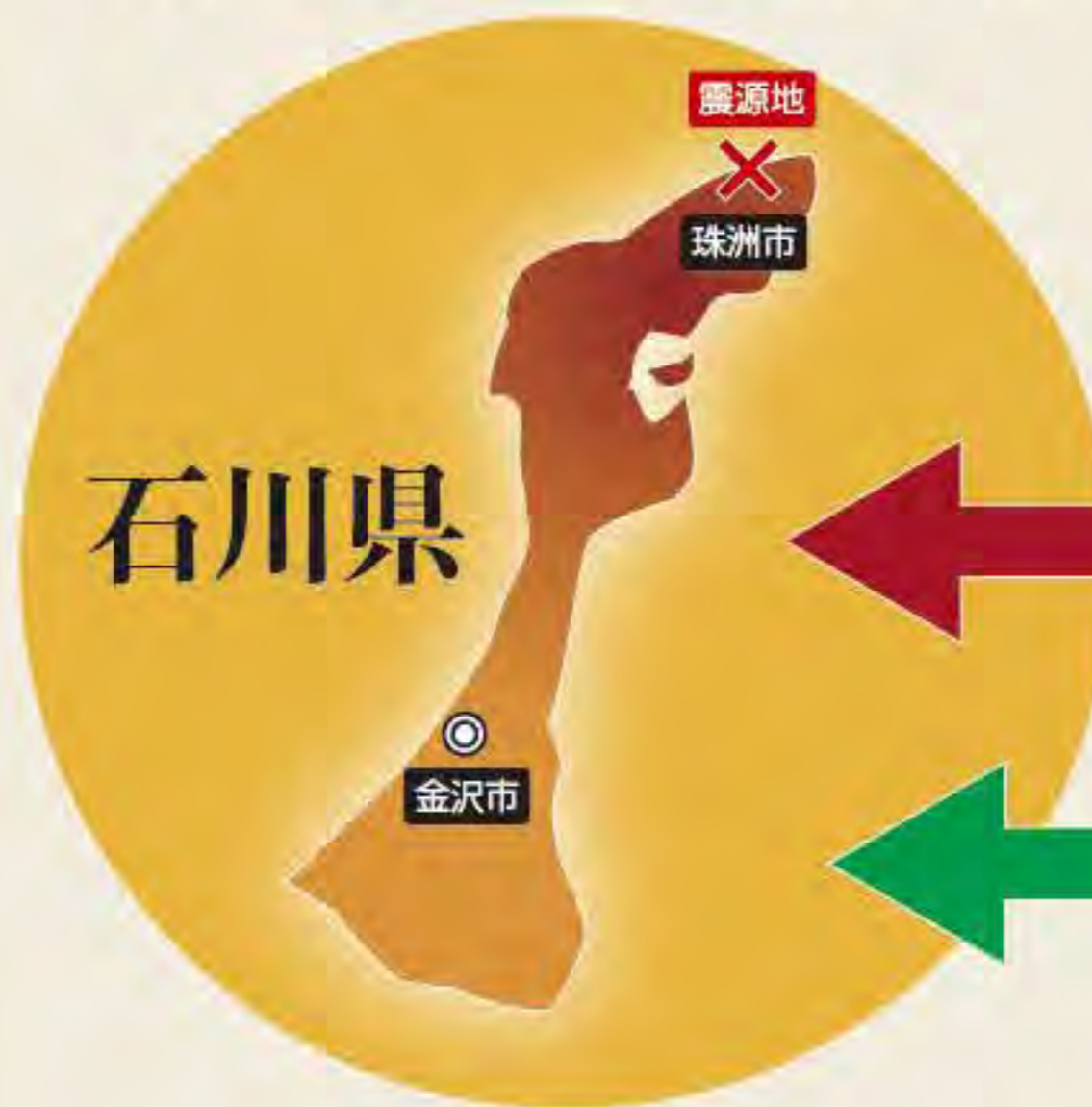
震度6強以上の地域へ入る緊急輸送道路と市町村界の交点：10カ所 ※

※ 出典：「国土数値情報ダウンロードサイト」の緊急輸送道路の情報を基に内閣府で計上

支援隊員の体力も損耗

所要時間が約11時間!

特に富山～珠洲市は通常2時間のところ、およそ5時間を要した。



TEC-FORCEのべ2,488人が、 東北地整から能登へ

※令和6年3月29日時点

■令和6年能登半島地震の主な被害

この地震により石川県を中心に、多数の家屋倒壊、土砂災害等により死者260名、重軽傷者1,323名の甚大な被害が発生。電気、ガス、上下水道等のライフラインへの被害のほか、道路、鉄道等の交通インフラにも甚大な被害が生じ、住民生活や中小企業、農林漁業や観光業等の経済活動にも大きな支障が生じた。

○人的被害 (令和6年6月25日現在)

| | 死者 | うち災害関連死 | 行方不明者 | 重軽傷者 |
|----|------|---------|-------|--------|
| 人数 | 260名 | 30名 | 3名 | 1,323名 |

○ライフライン被害 (令和6年6月25日現在)

| | 災害戸数 | 重軽傷者 |
|----|-----------|--|
| 電力 | 約44,160戸 | 安全確保等の観点から電気の利用ができない家屋等を除き復旧。 ※北陸電力送配電が保安状の措置を実施：約80戸 |
| 水道 | 約136,440戸 | 早期復旧が困難な地区を除いて、断水解消。 |

○住家被害 (令和6年6月25日現在)

| 県名 | 住宅被害 | | | | |
|-----|-------|--------|------|------|--------|
| | 全壊 | 半壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | 一部損壊 |
| 石川県 | 8,053 | 16,746 | 6 | 5 | 59,170 |
| 新潟県 | 106 | 3,766 | - | 14 | 17,253 |
| 富山県 | 249 | 772 | - | - | 19,054 |
| その他 | - | 12 | - | - | 770 |
| 合計 | 8,408 | 21,296 | 6 | 19 | 96,247 |

出典：内閣府 令和6年能登半島地震における災害の特徴 (資料2) より